

観光サービスを考案

京都造形芸大生 エアビー向け

京都造形芸術大（京都市左京区）は26日、民泊仲介大手の米エアビーアンドビー（日本法人（東京））向けの新たな観光サービスとして、学生が考案したプロジェクトを発表した。いずれも今春以降に試験運用を始める。

京都造形芸大生（京都市左京区）は26日、民泊仲介大手の米エアビーアンドビー（日本法人（東京））向けの新たな観光サービスとして、学生が考案したプロジェクトを発表した。いずれも今春以降に試験運用を始める。

の偶然の出会いや発見を地図上に記録して共有するアプリ▽民泊先で子どもを預けて現地文化などを教える専門シッターの仲介▽地元料理人や主婦らが手作りした朝食の提供の三つ。情報デザイン学科クロステックデザイニングコースの学生が考案し、3組6人の事業プランを採用した。



エアビーアンドビー向けの新たな観光サービスを考案した学生と協力企業の幹部ら（京都市左京区・京都造形芸術大）

アプリは、地図共有サービスのストロベリー（下京区）が東京五輪・パラリンピックの期間を挟む3〜9月に京都と東京で運用を始める。シッター派遣は子育て支援のパソナフオスター（東京）が2020年度に京都、東京、大阪を始め、朝食サービスも今秋以降に京都市内でスタートする。利用状況や収益モデルを検証し、本格運用を検討する。

エアビー社は18年12月、同大学と住居のシェアリングに関する包括協定を結び、寄付講座を開設した。学生を

指導した同コースの軽部政治教授は「シェアリングが日常生活に浸透する中、エアビーのサービスをさらに拡充できる」と説明した。（柿木拓洋）